



# Future Generation Art Prize 2017

## ピンチューク・アートセンターでフューチャージェネレーション芸術賞 2017にノミネートされたアーティスト21名の作品展を開催中

ピンチューク・アートセンター (PinchukArtCentre)はフューチャージェネレーション芸術賞2017 (Future Generation Art Prize 2017)を2017年2月25日に開催しました。この展示会は、2009年にビクトル・ピンチューク財団(Victor Pinchuk Foundation)により創立された35歳以下のアーティストのための世界的な現代美術賞であり、今回ノミネートされたアーティスト21名の作品を展示しています。作品は、最近作られた新しいものを中心に焦点をあて展示しています。

この展示会は現代世界を多面的に捉えながら、この世界の中での美術の位置付けを探求しています。個人と集団、想像と事実、明らかなものと隠れたものなどの間にバランスを見つけながら、展示会は類を見ない経験とグローバルな現象を合わせ持つパラレルワールドへの興味ある旅に訪れた人々を招待します。

我々の心をひき付け多様な形式を持つこの展示会では、いろいろなメディアを駆使した作品をご覧になることができます。作品は自らの思慮の深みに、事前によく準備され、時おり微妙な示唆とともに表明された現地ウクライナの状況との相互関係の中に参観者の皆様に誘うことでしょうか。希望のない不確実な世界に未来のシナリオを予見しようとする試みは、変革の預言者としてだけではなく第一にその守護者としての芸術家の社会的役割という問題を提起しながら、自らの深い探求によって対立しています。

ビョーロン・ゲーリドホフ、ピンチューク・アートセンター、アート・ディレクター:「芸術コンクールであるFuture Generation Art Prizeが8年にわたり4回催された結果、世界文化の場面で重要な道標になったことを私は誇りをもって表明いたします。この芸術賞はすべてのノミネートされたアーティストに新しい作品への投資として、並行して行われるヴェネツィア・ビエンナーレ (La Biennale di Venezia) の公式プログラムとして展示される機会を与えるように常にサポートしています。この展示会のためにウクライナに全世界から21人のノミネートされたアーティストが集まることができ、キエフの現代文化のハブとしての能力を強調させながら、現地のアート界にもインスピレーションを与えています。また、今回はこの芸術賞の歴史としては初めてアンナ・スモラック氏をキュレーターとして招聘いたしました。」

次のショート・リストに挙げられた21人のアーティストは、国際選考委員会によって138カ国からの4400を超える申請から選ばれました。35歳までのウクライナの若手現代美術家を対象としたピンチューク



# Future Generation Art Prize 2017

ク・アートセンター全国現代美術2015優勝賞を獲得した「オープン・グループ」も、今回の芸術賞のショート・リストに加えられました。

ニジデカ・アクニリ・クロスビー、33歳（ナイジェリア、USA）

イワン・アルゴテ、32歳（コロンビア、フランス）

ファイレレイ・バエス、35歳（ドミニカ、USA）

ダイネオ・セシエ・ボパペ、35歳（南アフリカ）

ファイビ・ボスウェル、34歳（ケニア、英国）

ケマン・ワ・レフレレ、32歳（南アフリカ）

リ・ラン、30歳（中国）

ヴィヴィアン・カツクリ、30歳（ブラジル）

ソル・カレロ、34歳（ベネズエラ、ドイツ）

イブラヒム・マハマ、29歳（ガーナ）

レベツカ・モス、25歳（英国）

サーシャ・ピロゴワ、29歳（ロシア）

カミーラ・ジャナン・ラシド、31歳（USA）

マールテイン・シームス、28歳（USA）

クリースティアン・ファルスナス、35歳（デンマーク、ドイツ）

エンディー・ホールデン、34歳（英国）

EJ ヒール、31歳（USA）

アスリ・チャウシュオグル、34歳（トルコ）

ワジコ・チャチュヒアーニ、31歳（グルジア、ドイツ）

カールラ・シャーイム、33歳（ブラジル）

オープン・グループ（ウクライナ）

アンナ・スモラツク氏がフューチャージェネレーション芸術賞2017展示会のキュレーターを務めています。

フューチャージェネレーション芸術賞2017国際選考委員会の委員は次の通り：



# Future Generation Art Prize 2017

- ニコラス・ボーム、ディレクター、上席キュレーター、Public Art Fund, ニュー・ヨーク;
- イリナ・ブラズウィック、ディレクター、Whitechapel Art Gallery, ロンドン;
- ビョーロン・ゲーリドホフ、アート・ディレクター、PinchukArtCentre (キエフ)、YARAT (バクー);
- 片岡真美、主任キュレーター、Mori Art Museum (東京)、21回シドニー・ビエンナーレ2018 主任キュレーター;
- コヨ・クラ、Raw Material Company、ダカール、創業者、アート・ディレクター
- ジェローム・サーンス、Palais de Tokyoの共同創業者、Perfect Crossoversプロジェクトの アート・ディレクター
- ヨーヘン・フォーリツ、サンパウロ32回ビエンナーレ、キュレーター、ブラジル・サンパウロの Pinacotecaディレクター

優勝者は国際審査によって判定されます。優勝賞金は10万米ドル。その中から優勝者は6万ドルを現金で、残り4万ドルを新規作品を制作するための投資として受け取ることができます。この他、審査により選ばれた5名以内の受賞者には特別賞2万ドルが授与されます。

ショート・リストに挙げられた**21**人のアーティストの作品展示会は下記のとおり催されています。

## 記

場所: **PinchukArtCentre**

展示期間: **2017年2月25日~4月16日**、火曜日~日曜日

展示時間: **12:00~21:00**

休館日: 月曜日

入場料: 無料

以上